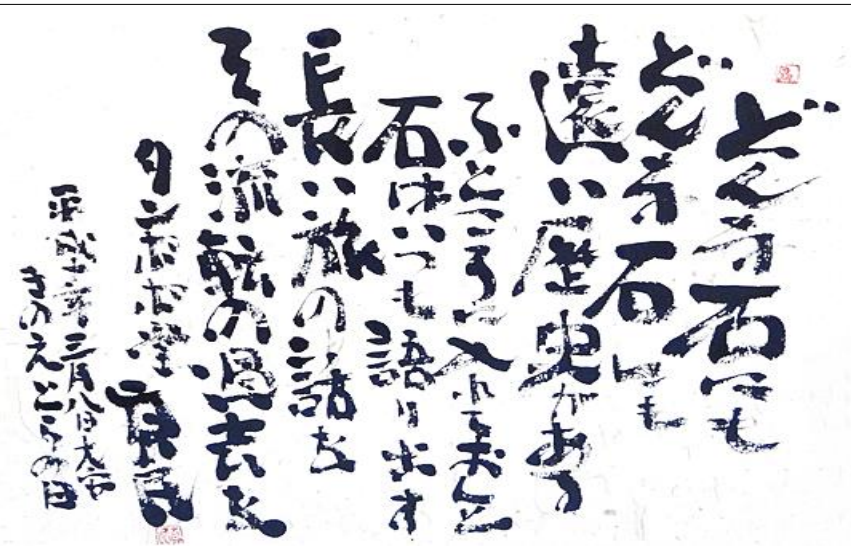
笑う門には福来たる

㈱日本交通社
発行人 光田秀之
☎089-946-3911



夏休み企画展「若い人たちへ～真民さんからのメッセージ」
7月8日～10月1日まで
坂村真民記念館（砥部町）

明朗・愛和・喜働

風鈴

夏の風物詩の一つに「風鈴」があります。諸説ありますが、風鈴は中国で占いに使われた「占風鐸」が起源とされています。風の吹く方向や音の鳴り方で吉凶を占っていました。

日本には仏教と共に伝わってきたといわれています。当初は魔除けとして寺院のお堂や塔の四隅につるされていました。その音が聞こえる範囲は聖域で、聖域内に住む人々は守られると考えられていました。

今日のように音で涼を楽しむようになったのは近世になってからのようです。季語として俳句でも詠み込まれるようになり、代表的な俳句に正岡子規の風「鈴のほのかにすずし竹の奥」などがあります。

蒸し暑い空気の中、風鈴の音を聞くと「風」が想起され、条件反射で涼しく感じリラックス効果も期待できるでしょう。

現在は風鈴をつるす家は少なくなりましたが、高温多湿という日本の風土が生み出した文化を大切にしたいものです。

◆文化を大切にしましょう

「職場の教養」より

日本再発見！

唐人駄馬遺跡（高知県土佐清水市）

四国最南端の岬・足摺岬の背後の丘陵地にある唐人駄場には、ストーンサークルと思われる列石や、「唐人岩」と呼ばれる高さ6～7mもの巨岩が林立している。巨石の一部には人工的に削られたり加工されたりしたと推測できる跡も見られることから、太古の文明の名残ではないかともいわれている。

実際、遺跡からは縄文土器や石斧、弥生時代の土器片などが出土している。

古代へのロマンをかきたてる謎に包まれた巨石群です。

保親さんの人生万感

陸奥の短き夏を愛しむごと
ねぶたの熱気夜空を焦がす

波静かな瀬戸の浅瀬で海苔育て
親子三人明るく生きる

思うようにならないから面白い

決まりきったことだけの毎日ではつまらない。人生に“想定外”は当たり前。そうした気持ちが人生を楽しくする。